

課題研究の最終発表会が行われました!

2月9日(火)に、「SG 探究基礎」の最終発表会が行われました。1年生は、4~5人のグループで、身近な課題(地域に根ざしたローカル課題)を一つ設定し、秋以降研究を続けてきました。統計の講義でデータを活用させる方法を学んだ上で、新書・インターネット等から情報を収集し、考察をしていたようです。中には地域の方々にアンケートをとったグループもあり、1年生の皆さんが、自分たちの地域の課題と向き合おうとした足跡を感じることができました。発表が終わった後の質疑応答でも、本質を突いた質問や、そのグループ内では思いつかなかったような視点からの指摘が出てくる場面があり、聴衆としても発表者としても刺激的な機会だったのではないのでしょうか。来年は、さらにこれを深化させ、「研究」として昇華させていきましょう。

<予選会における生徒の反省>



(発表に関して)

- ・話し合いのような形式にしたのが良かったと思う。内容をもう少しみんなにわかりやすく伝える方法を探せばよかった。
- ・もっと聴衆を意識した態度にするべきだった。



(準備に関して)

- ・わりとスムーズに進んだけど台本は用意するべきだった。されそうな質問をもっと予想して準備するべきだった。
- ・話し合った内容を上手くまとめに反映できなかった。



(スライドに関して)

- ・視覚的に訴えるスライド作りを工夫すべきだった。
- ・そもそも中身(内容)に関する知識が足りなかった。

☆各クラス代表チーム決定!!☆

- 11H 外国人増加への対応
- 12H 食文化~加賀野菜について~
- 13H 伝統産業
- 14H 静寂と孤独の白山~白山市の若者流出を防ぐには~
- 15H 外国人の文化★宗教
- 16H 難民~ホテルでの悲劇~
- 17H 石川の伝統工芸品産業~従業員数の減少と伝統工芸品の未来~
- 18H 石川県の地域格差
- 19H 北朝鮮との交流~テポドンから石川を守れ!~

模擬国連チャレンジプロジェクト!!

12月12日(土)より土曜 EX の午後等を利用して「模擬国連チャレンジプロジェクト」(今年度全5回)を行っており、3月5日(土)に5回目(今年度最終回)を迎えます。

このプログラムでは、本校 OB で京都大学法学部の山城さんを中心に日本模擬国連関西事務局の大学生が毎回、準備と指導を行って下さいました。第1回(12/12)は「核実験」、第2回(1/23)は「安全保障理事国の追加」、第3回(2/6)・4回(2/13)は「京都議定書」を議題として少しずつ、実際の模擬国連の形式を習得していきました。

それぞれが各国大使として、国益を代表しながら交渉の中で合意形成を目指す模擬国連では、多様な立場からものごとを捉える力、自分達の考えを説明しながら合意形成にもっていくためのコミュニケーション力など、21世紀に必要なスキルが求められてきます。それでも参加者達が、毎回とても熱い議論と交渉を重ねながら、どんどん成長していく様子には正直驚かされました。この中から全国大会に参加できる生徒が出るのを楽しみにしています。

自分の主観ではなく、国を背負って責任をもって本気で交渉するのが面白かった。普段の日常生活ならできないことをできたので面白かった。

応募する前から、国際社会とか国連などに興味をもっていて、今回参加していく中で、国際社会の複雑さや国連の仕組みがわかってよかったです。これからの本格的な模擬国連で、説得力があり、論理的な意見を出して、上手く駆け引きしたいです。また、今の世界の状況、時事問題、課題などを理解して、自分の夢を叶えるために生かし、視野を広げていきたいと思えます。

応募時の私は、人の考えを納得させる力があると過信していました。しかし、この企画を通じて、私の力は全く通じないと考えさせられました。模擬国連企画を通じて、自分の意見を主張するタイミングを計る力を得て、サポートでなく自分の意見を周りに納得させられるリーダーに成長したいと思いました。

自分一人でも堂々と意見が言えるようになりたいです。将来、国際機関で働きたいので参加したけど、とにかく知識が必要だと思いました。自分の立場を固めるには誰が何をするのが得か損かを分かっていないと駄目だなと思いました。また、今回参加しているのは国連に興味のある人が多いと思うので、そういう人たちと知り合える機会になったのも後々役に立つかなと思いました。



3月のSGH関連の予定

3月 1日(火)5~7限目 1年生校内プレゼン大会(SG 探究基礎)

クラス内予選で選ばれた代表たちは、この日のためにプレゼンの更なるブラッシュアップを行い、運営スタッフの皆さんは準備を整えてきました。聴衆となる皆さんはたくさんの質問を投げかけ、一年間の集大成として学年全員で盛り上げていきましょう。

**3月 4日(金)5, 6限目 本校 OB 北海道大学教授による特別講義
「太陽系大航海時代に見る夢」**

橘省吾教授(北海道大学・本校 OB)による特別講義。小惑星探査機「はやぶさ」の開発にも関わった先生です。話しぶりにはその人の人となりが見られます。そのようなプロフェッショナルの姿をぜひここで学びましょう。